



荻川小だより

〒956-0011 新潟市秋葉区車場922-1
TEL : 0250-25-2171 FAX : 0250-25-2172
<http://www.ogikawa.city-niigata.ed.jp/>

令和4年7月21日発行 No 4

子どもたちの行動の内側に目を向けると

教頭 菅原 知昭

今週の金曜日が終わるといよいよ夏休みになります。ここまでの学校生活の中で、私が嬉しいなど感じた姿の1つは、「挨拶をすると返す子どもが増えたこと」です。「挨拶をされたら返す」、これは「当たり前」のことかもしれませんが。私は「やって当たり前」ということを子どもが「当たり前にする」こと自体、成長の1つと考えています。そして、そのような姿を嬉しく思うと共に、子どもたちに感謝の気持ちを抱き「元気な挨拶ありがとう！」と声に出すことが増えました。本当に嬉しいことです。

さて、夏休みといえば、宿題があります。ここまでの学習の定着を図る、計画的にやり遂げて達成感を得る、継続して取り組む力を養うなど、お子さんにとって様々な力を付ける機会となります。

お子さんは夏休みの宿題をどのように取り組むのでしょうか。

- (1) 最初の数日でやり遂げ、あとは悠々自適に過ごす。
- (2) 計画を立て、計画通りにコツコツと進めていく。
- (3) 面倒くさくなって後に回し、お家の人に注意されながらなんとかやり遂げる。

他にもパターンはあると思いますが、皆さんが望む姿はどれですか？(1)か(2)でしょうか。(3)はできることなら避けたい姿でしょうか。

見方を変えると(3)の姿、面倒だと思いながらも、投げ出さずに取り組んでいるのです。嫌だと感じながらも、気持ちを切り替えて取り組んでいるのです。お子さん一人一人には意思があり、好みがあり、考えがあります。そして、本人が自分の行動を選択し、決定していつているのです。面倒だと思ってもやることを選択し、行動したということに目を向ければ、嬉しくなることでもあります。思わず「面倒だと思いながらも、逃げずにやったんだね。嫌なことにも向き合う姿、嬉しいな。」と声をかけたくなりませんか？「宿題をする」ことは大人から見れば「やって当たり前」のことかもしれません。その「当たり前」ということを「当たり前」のように子どもがしていること自体、実は簡単なことではなく、価値があることなのです。

夏休みの宿題と向き合う子どもたち、その姿は一人一人様々でしょう。お子さんはどのような選択、行動をしていくのでしょうか。夏休みは、そんなお子さんの意思決定や行動する姿を見つめる絶好の機会です。私たち大人が視点や価値観を広げると、お子さんの選択、行動は価値あるものが増えていくことでしょう。ぜひ、お子さんの姿から価値ある選択、行動を見つけた時は、その喜びや安心感、嬉しさ、感謝の気持ちを声や態度に出して伝えてください。そして、ご家族で楽しく和やかな夏休みをお過ごしください。

